

桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃

令和4年8月24日

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ

社会に貢献する 生徒を育む』

さあ、2学期のスタート

新型コロナウイルスに関する社会情勢を振り返ると、4月から6月までは少し落ち着いていましたが、7月ぐらいより新規感染者も増えてきて、現在もピークアウトしているかどうか分からない状況です。以前は緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発令されたり、学校が閉鎖されたりしましたが、最近は社会生活も強い制限を受けず、学校も開かれています。感染防止対策が**より個人**に求められてきていると考えられます。

現在も京都市教育委員会の指示により、新型コロナウイルス陽性者となれば、出席停止となります。学級や部活動もその人数や感染経路などを総合的に判断して学級閉鎖や部活停止を行うこととなっています。また、家族の方が陽性者となったときも一定期間は自宅待機となります。（それぞれの日数については、緩和されてきていますので、最新の情報を確認してください。）今まで以上に感染防止対策を徹底して、“感染しない”“感染させない”ようにしたいものです。すでに陽性者になった人も多い状況ですので、お互いの心遣いもより大切になってきています。

この2学期には文化祭や体育大会など学校行事や、生徒会本部役員選挙などの生徒会行事もたくさんあります。2年前はほとんどできていませんでしたが、去年は形を変えて“今できること”を“今できる方法で”実施しました。今年はさらに工夫して桃陵中の新しい「文化祭」「体育大会」「生徒会行事」を作っていきたいと思います。この行事を通して、学校教育目標の『自ら学ぶ 豊かな心をもつ 社会に貢献する』を実践してください。

夏休みの間に・・・

登校して気づいたことはありますか？ 中校舎に車いすの方も利用できる快適トイレが設置されたことをうけて、北校舎1階の女子トイレ・男子トイレの一番奥の個室のカギが閉まらず、とても使いにくい状態だったのを改装しました。また校舎の廊下の壁にペンキが塗られて美しくなっているところがあります。みなさん、気づきましたか。